



## 特集記事 -Special Program-

## ハンドバイク体験教室を開催!

当協会では初開催。新規事業ながらあまりの楽しさに3回も実施しました!

### 面白い!まるでハーレーダビッドソンだ!

数年前から、ハンドバイクの魅力について、東北ハンドバイク協会代表である巴雅人さんから伺っており、今年度初めて当協会の事業として体験会を開催しました。自分の車いすに一輪車を装着するだけなのに自転車並みのスピードが出るし、見た目は小型のハーレーダビッドソン!参加者のテンションも上がります。その魅力にすっかりはまり、今回は特集記事としました。本県では、以下の日程で開催いたしました。

- ◆令和元年5月5日(日) / ふれあいランド岩手
- ◆令和元年9月14日(土) / ふれあいランド岩手
- ◆令和元年9月29日(日) / 安比高原

### \*初開催となった5月5日(日)のレポート

当日は絶好のサイクリング日和でした。使用するハンドバイクは常用の車いすに一輪車を取り付けるタイプで価格はこれだけで40万円近くとか・・・各自装着が終了した順に陸上競技場にて「前進」「ブレーキ」「ハンドル操作」「走行しながらのギアチェンジ」を練習した後、安全のための交通ルールを確認し、いざ公道へ出発!コースはふれあいランド岩手の周辺で北上川沿いの道路を含む約5km。入門コースとしては最適でした。途中、五月晴れの岩手山を臨み、その美しさに皆、感動して記念撮影をしました(表紙画像参照)。普段は感じることのできないスピード感と長い距離を走ることができる達成感は、素晴らしいものでした。

## CONTENS



### ■特集記事

P1/ハンドバイク体験教室を開催!

P3/第21回岩手県障がい者スポーツ大会を開催!

### ■活動報告(P4~P9)

車いす操作スキルアップ指導者養成&体験教室/グラウンドゴルフ奥州交流大会/元プロ野球選手によるソフトボール教室/希望郷いわてオープン2019卓球バレー交流大会/初級障がい者スポーツ指導員養成講習会 他

### ■掲示板(P9)

中級障がい者スポーツ指導員養成講習会のご案内 他

■平成30年度決算報告&令和元年度収支予算(P10~P11)

■会員紹介(P12)

## ホームページについて

開催要項、申込書データのダウンロードや詳細情報は当協会のホームページよりご覧ください。

URL → <https://www.iwate-adaptive.or.jp/>



お問合せ先：一般社団法人岩手県障がい者スポーツ協会  
TEL 019-637-5055 / FAX 019-637-7626  
E-mail : info@iwate-adaptive.or.jp





▲①フィッティング（装着とシート調整）をする巴さん（右）とアシスタントの橋本さん（左）、②参加した小学生。まずは陸上競技場にて基本操作を学びます。③いざ公道へ。巴さんから公道走行の注意事項を指導いただきました。④北上川沿いのコース。五月晴れの岩手山は本当にきれいでした！

## 東北ハンドバイク協会代表・巴雅人さんにインタビューを行いました

### Q：ハンドバイクを始めたきっかけは？

2013年（当時59歳）ぐらいから体力低下を著しく感じて、まずは、日常用の車いすでのジョギングを始めました。最初は800mぐらいからスタートして4km～6km走るようになりました。その年の12月に知人がハンドバイクをもってきて体験させてもらいました。「これは面白い」と直感し、翌年、自分用に入手し、普及活動のために東北ハンドバイク協会を設立しました。

### Q：ハンドバイクの特性と効果は？

普段使用している車いすに、16～24インチサイズの駆動、ブレーキ、ステアリング操作ができる前輪を取り付け、クランクを回すことで走行ができ、以下の特性があります。

- A 小さな段差も気にならずに走行可能
- B 片勾配の道路でもハンドル操作により直進可能。
- C 変速ギアによりスピードが出る（10～18Km/h）
- D 車道を走れるので長距離走行ができる。
- E 前輪部は着脱により室内利用可能で利用範囲が広い。

### Q：ハンドバイクを普及する上での苦労は？

皆で一緒に走ることが楽しいので必要台数を確保したいのですが、購入費用が足りません。また、初心者の場合は、サポート人員の確保も必要になります。なお、障がい者スポーツでは唯一公道を使用するので安全指導とリスク管理が重要です。あとは、東北ハンドバイク協会の活動資金の確保も苦労しています。

### Q：今後の展開や予定を教えてください。

まずは、岩手県で3回も体験会を開催していただき感謝しています。実は7月には、東北ハンドバイク協会主催の1泊2日のツーリングでも、御所湖と遠野市を訪問していました。

このように、体験会を通しての普及活動を継続し、レ

ベルに応じたツーリングモデルコースの情報発信も重要ですね。先ほどの活動資金や購入費用補助については行政や企業・団体等への働きかけが必要です。

なお、情報提供ですが、2020年の東京パラリンピック終了後に宮城県名取市にある「名取市サイクルスポーツセンター」が、津波被害から復興オープンします。そこを活用して、ハンドバイクの全国大会を開催する計画があります。

## 巴雅人さんのプロフィールを紹介



秋田県生まれ。65歳。仙台市在住。  
☆昭和56年、岩手大学教育学部特設美術科卒業。同年株式会社ジェーシーアイ入社。



☆平成7年、(社福) 共生福祉会に出向。「バリアフリー体験住宅」の企画・運営。  
☆平成11年東北ユニバーサルデザイン研究所主任研究員。  
☆平成16年、有限会社車座を設立、代表取締役就任。

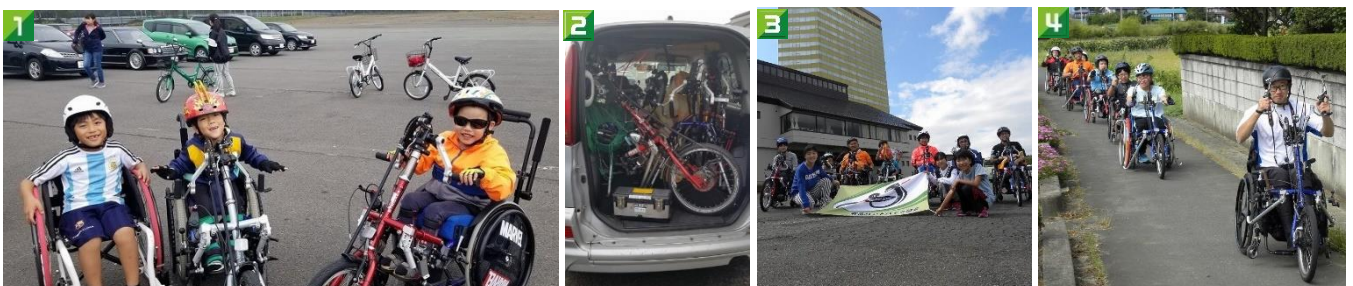
## 二十歳の交通事故で脊髄損傷・・・以来、車いすを味方に福祉と向き合ってきた。

### 【主な活動 ●現在】

- ☆元宮城県障害者スポーツ協会副会長 ☆元日本チェアスキー協会副会長 ☆前東北チェアスキークラブ代表
- バリアフリーみやぎ推進ネット代表 ●(社福) 共生福祉会運営委員・苦情解決第三者委員 ●六郷すずめっこ監事 ●(学法)わかば学園監事 ●東北ハンドバイク協会代表 他

## 障がい者スポーツ関連の足跡

岩手県内で盛んに利用されている登山用車椅子を開発した。2001年「新世紀・みやぎ国体」は「バリアフリー国体」と名づけられ、「バリアフリー国体を応援する会」の代表となった。また、東北に初めてチェアスキーを紹介し、現在も普及活動を行っている。



▲①ハンドバイクといったカッコいいヘルメットにグラサンは必需品ですよ～②巴さんの愛車にはいつも機材がぎっしり。③安比高原の象徴的なホテル・タワーをバックに記念撮影。④ハンドバイカーを先導する橋本宣史さん。いつも福島から駆けつけてくれます。



# 第21回岩手県障がい者スポーツ大会を開催!

毎年6月の第1週土曜日に三障がい合同のスポーツ大会として開催しています

## 大会のシンボルマークについて



第6回大会においてプログラム表紙をデザインしていただいた山田町の内館正道さんは、東日本大震災の犠牲になった一人です。内館さんはこれまでに絵本やイラスト、絵葉書など数々の夢のある温かいメッセージが込められた作品を制作してきました。内館さんへの哀悼の意を込め、このデザインを震災復興の象徴とし、本大会のシンボルマークとすることにしております。

### シンボルマークのデザイン画の説明 (作者より)

- ◇少年の背後にある星は、スポーツを通じて自分なりの一番星を見付ける事、未来への希望を表現しています。
- ◇少年の胸のゼッケンは人間の無限の可能性を表す。
- ◇少年のまわりにある“花”のようなものは人間の手と人間そのものを表し、競技に対する「拍手」と「人と人のつながり」を表現しています。

## 大会の概要について

- ◆期日：令和元年6月1日(土)
  - ◆会場：
    - ①岩手県営運動公園陸上競技場(開閉会式、陸上競技)
    - ②岩手県営運動公園補助競技場(フライングディスク)
    - ③ふれあいランド岩手(水泳、卓球、アーチェリー)
    - ④盛岡スターレーン(ボウリング)
  - ◆実施競技/全国障害者スポーツ大会個人競技・6競技
  - ◆参加者数(第21回大会実績)
    - ①選手1,517名(陸上544名、水泳53、卓球180、アーチェリー8、ボウリング213、FD519)
    - ②スタッフ662名(係員207、メイト200、ココパト255)
    - ③競技役員139名(陸上39、水泳12、卓球37、アーチェリー6、フライングディスク40、ボウリング5)
- ※上記①+②+③=合計2,318名。この他、応援・引率等を加えると3,000名以上の方が参加している。



▲①陸上/スラローム～赤と白の旗門の間を電動車いすで走行し、タイムを競う。②フライングディスク会場の全景(補助競技場) ③陸上/視覚障がいの伴走者が必要な区分はアイマスク着用が義務づけられている。④陸上/最終種目の4×100mリレーは男女混合で行われる。

## 本大会に係る様々な取り組み①

### 大会プログラムの表紙デザインの募集

第6回大会より本大会のプログラム冊子の表紙のデザインを一般公募により募集しています。毎年、素敵なデザイン画が多数寄せられています。最優秀賞作品が大会プログラムの表紙デザインとなります。



▲①第21回大会採用・廣田梨来さん(矢巾町)、②同20回大会・高橋一彦さん(北上市)、③同19回大会・山口雅代さん(一戸町)

### 大会テーマソング「SKY」について

本大会のテーマソングは、奥州市出身のシンガーソングライター松本哲也さんに作詞・作曲していただきました。毎年、開会式でご披露いただいております。



▲第10回記念大会では、小中学生による手話歌隊も参加しました!



▲①大会テーマソング「SKY」を熱唱する松本哲也さん、②長崎県から応援に駆けつけた「瑞宝太鼓」の皆さん、③ダンススペースの皆さんによる「わんこダンス」



## 本大会に係る様々な取組み②

### 大会を支えるボランティアの皆さん

本大会のボランティアは医療福祉系の専門学校生徒を中心とする「メイト」と一般公募のボランティア「ココパト」により運営をサポートしていただいています。ココパトは、『ココロをつなぐパートナー』の略称です。この他、多くの関係団体からスタッフとしてご協力いただいております。



▲①開会式で使用するイスを準備する選手介助係、②毎年ココパトとして参加している救急救命士の卵である国際医療福祉専門学校一関校の皆さん、③総合案内係を担当した岩手看護専門学校の皆さん、④開会式のリハーサルをする手話通訳の皆さん

### 本大会のもう一つの主役

本大会の式典運営（開閉会宣言、放送係）は、特別支援学校生徒に協力をいただいています。また、会場周辺では、福祉事業所による販売活動も実施しています。



▲①開会宣言を担当した岩手県立盛岡聴覚支援学校の松本嘉光さん、②③毎年、約20事業所が参加する販売コーナーは、多くの来場者で賑わっている。

## 事業報告 -Report-

## 4月～7月の活動報告です

※紙面スペースに限りがありますので、詳細はホームページをご覧ください。

### 車いす操作スキルアップ指導者養成講習会&体験教室を開催しました

◆期日：平成31年4月20日（土）～21日（日）◆会場：ふれあいランド岩手

◆レポート：20日に指導者養成講習会、21日にスキルアップ研修会を行いました。参加者は車いす利用当事者、障がい者スポーツ指導員、特別支援学校教員、理学療法士、作業療法士、学生などが参加。20日から始まった指導者講習会は、車いすの乗り方、指導時の留意点、リスク等の解決方法を含めて時間をかけて行いました。受講者はある程度の車いす操作技術のある方や初めて車いすに乗る方もおり、講師の橋本さん、インストラクターの高橋さんの講義・実技を集中して見聞きしていました。また、講習会終盤では、21日に行われるスキルアップ講習会で全体指導を行うパートを個人ごとに分担され、受講者は指導方法をマスターするべく、テキストや動画を見ながら反復練習し、翌日の本番に備えました。



▲車いすキャスター（前輪）上げの練習の様子

21日のスキルアップ講習会は、指導者講習会の参加者を併せると16名ほどが参加。「前進」「ブレーキ」「キャスター上げ」「集団プログラム」は講師の橋本さん、インストラクターの高橋さんが中心となり行いました。また、前日の指導者講習を受講した5名が「ターン」「バック」の全体指導にチャレンジ。緊張しながらも、見事にやり遂げ、安堵しておりました。このことは、指導現場において貴重な経験として必ず活かされるはずで、今後は、今回のメンバーが中心となり、車いす指導ができるよう各々がスキルアップしていくことを期待します。最後になりましたが、事業実施に際し、サントリーホールディング株式会社、日本フィランソロピー協会をはじめ、多くの方々からのご支援に対して心から感謝を申し上げます。



▲①講師の一般社団法人コ・イノベーション研究所代表理事 橋本 大佑 氏②車いすでのゲーム「じゃんけんベースボール」③20日指導者講習会の受講者の記念撮影～見事に全員？キャスター上げをマスター④お世話になっているサントリーホールディングス株式会社 CSR推進部長の坪松博之氏～坪松さんは、あらゆるイベントに足を運び、選手を激励していただいております。本当にすごい人なんです！



# グラウンドゴルフ奥州交流大会を開催しました

◆期日：令和元年5月24日（金）◆会場：江刺カルチャパーク（奥州市江刺）  
 ◆レポート：五月晴れの絶好のコンディションの下、本年度1回目のグラウンドゴルフ交流大会が開催された。会場となった江刺カルチャパークは、人工芝の多目的コートで普段はサッカーやフットサルなどに使用され、利用頻度の高い施設である。さて、参加者は、奥州市、北上市、一関市、花巻市、平泉町、住田町、金ヶ崎町から60名ほどであった。やや日差しが強く、人工芝コースのため、かなり気温が上がると想定していたが、心地よい風もあり、それほど暑さを感じさせなかった。参加者の皆さんは、赤コース、青コースの各8ホール、合計16ホールを楽しみながら思い思いにプレーしていた。大会結果は以下のとおり。

男性の部（個人） 第1位：泉 金一（住田町）／34点 第2位：松田 勲（住田町）／37点 第3位：菊池 孝男（奥州市）／41点	
女性の部（個人） 第1位：家子 松子（奥州市）／42点 第2位：伊藤 妙子（花巻市）／43点 第3位：田沢 シズ子（花巻市）／44点	
団体の部（上位5人の合計点数） 第1位：奥州市江刺／224点 第2位：北上市／225点 第3位：住田町／232点	



▲①前列は奥州市グラウンドゴルフ協会江刺支部の皆さん②選手宣誓は奥州市江刺の高橋清さん③会場はサッカー等、多目的に利用されている。④車いす部門にはハンディを設定。⑤男性の部優勝・泉金一さん（住田町）⑥女性の部優勝・家子 松子さん（奥州市）

ホールインワン賞／市橋 義伸（北上市）、松田 勲（住田町）、伊東 春男（一関市）、高橋 孝明（北上市）、鈴木 次三（奥州市）、菊池 孝男（奥州市）、泉 金一（住田町）、柳沢 義美（北上市）、松好 芳美（平泉町）、家子 松子（奥州市）

# 元プロ野球選手・小石澤浄孝(きよたか)さんのソフトボール教室を開催！

◆期日：令和元年5月26日（日）◆会場：岩手県立前沢明峰支援学校・グラウンド

◆レポート：西武ライオンズ、福岡ダイエーホークス（当時）で活躍した元プロ野球選手の小石澤浄孝さんをお招きしました。小石澤さんと言えば、今でこそ甲子園常連校となった盛岡大学附属高等学校が1995年に初めて甲子園に出場したときのエースピッチャーです。県大会では順当に勝ち進み、決勝戦では、140kmを超えるストレートに切れ味鋭い変化球を武器に、あわやノーヒットノーランという快投を演じたのでした。



▲講師の小石澤氏。徳島県出身。現在、仙台在住。キャッチボールだけでも現役時代のダイナミックな投球ホームが思い出されます。

さて、この教室は知的障がい者のソフトボールチーム『いわてスマイリーズ』の選手強化を兼ねて実施しました。選手たちは当日を心待ちにしており、ほぼレギュラーメンバー全員が参加。小石澤さんの指示の下にランニング、準備運動をこなしていきます。小石澤さんは日頃から小学生～高校生まで指導経験が豊富で、選手の状況に応じて一人一人に指導していただきました。時には冗談も交えながら選手の緊張を解いていきました。続いてキャッチボールでは投げる、捕る、そのままステップをして投げるといったようなより実戦に近い形の練習に重点を置きました。次のバッティング練習でもポイントをしぼり、ボールを見て前で捉えるといったような基本練習をきっちり指導していただきました。指導者がつい疎かにしがちな基本の大切さを教えていただきました。そして最後に2チームに分かれ、スタッフも参加して交流試合を行いました。休憩時にはチームの監督がキャッチャーを務め、小石澤さんの投球練習を見学。いまだに130km以上は出ていると思われる伸びのあるストレートとブレーキ鋭いカーブを生で見るのができて個人的にはラッキーでした。



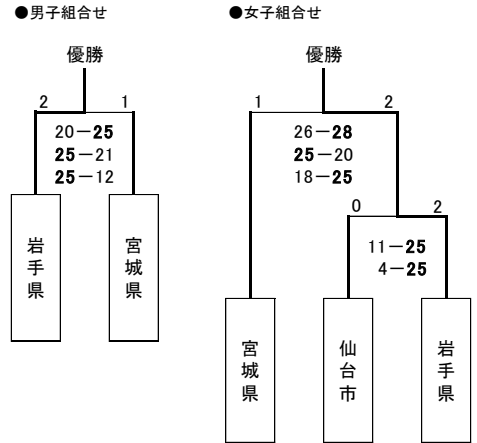
▲①最初に小石澤さんから自己紹介と本日の指導内容について説明をいただいた。②キャッチボールも一人一人丁寧に指導を受けました。③ゴロの捕球からスムーズにスローイングするポイントは？④バッティングの極意はボールを見ること。できれば当たる瞬間まで・・・1球を無駄にしない、集中力を養います。⑤最後はみんなで記念撮影！



## 初の男女アベック優勝！ 全国大会への出場権を獲得～バレーボール競技(知的障害の部)

◆期日：令和元年6月9日(日) ◆会場：岩手県営体育館(盛岡市)  
◆レポート：バレーボール競技(知的障害の部)の北海道・東北ブロック予選会を開催しました。この大会に優勝したチームは第19回全国障害者スポーツ大会「いきいき茨城ゆめ大会」への出場権を獲得します。岩手県チームは、平成22年に男女チームを結成。平成23年よりこの予選会突破を目指し、選手、スタッフ、そして保護者の協力により活動してきました。地元開催となった希望郷いわて大会を除き、予選会突破は叶いませんでしたが、昨年の福井大会で男子が初優勝。全国大会の切符を手にしました。そして、今年は男子とともに女子も初めて優勝し、アベック優勝を達成しました。

さて、今回の参加チームは、例年通り、男子が宮城県、岩手県の2チーム。女子が宮城県、仙台市、岩手県の3チーム。出場チーム数が少ないのは、それだけ知的障がいのある選手にとって通常ルールのバレーボールは取組みづらい種目であると言えます。団体競技全般について言えることですが、チームを存続するためには、選手のモチベーション、生活環境の変化、支援スタッフの確保等、様々な問題が発生してきます。しかしながら、継続して取り組むことにより、新たな選手へのスポーツ活動の場の提供や仕事への両立を実現した選手にとっては生涯スポーツとして彼らの生きがいと成り得る活動です。今後も継続して取り組んでまいりたいと思います。



▲全国障害者スポーツ大会団体競技の出場権は全国を6ブロックに分けた予選会で優勝したチームが獲得する。上記の結果、男女とも岩手県チームが第19回全国障害者スポーツ大会への出場権を獲得した。



▲①開会式の様子。会場となった岩手県営体育館は地元ながら数々の苦杯を舐めてきた因縁の会場でもあった。②選手宣誓をする男子キャプテン・佐々木栄喜選手と女子キャプテン・近藤由香利選手。この二人はチーム創設以来のメンバーである。③岩手県女子チームは初優勝。画像右上の及川貞之監督はチーム創設以来、長年、指導していただいている。④男子チームは昨年に続き2年連続優勝達成！

## 令和元年度定時総会を開催しました

◆期日：令和元年6月30日(日) ◆会場：ふれあいランド岩手(盛岡市)  
◆レポート：平成30年度事業報告、令和元年度の事業計画、予算の承認を受けました。今年度は東京オリパラ2020に関連するイベントも多く、様々なネットワークを広げるチャンスです。課題として、引き続き、自主財源の確保があげられました。他の事業遂行を考えると、単独で収益事業を実施することは困難な状況ですが、新たな賛助会員や寄付金を募り、財源を確保したいと思います。

また、新理事として岩手県スポーツ推進委員協議会の菊池幸子会長、岩手県特別支援学校連絡協議会の清水利幸会長、岩手県障がい者スポーツ指導者協議会の井上勝巳会長、岩手県文化スポーツ部スポーツ振興課の藤田芳男総括課長の4名の選任を行いました。

なお、総会終了後に共にバンクーバーパラリンピック出場を目指し、日本代表となった横沢高徳さんの参院選出馬表明を受け、国民民主党の玉木代表、達増知事など多くの関係者が激励のあいさつにいらっしゃいました。



▲①藤井会長の挨拶、②議長に選出された及川貞之氏、③参院選出馬を表明した横沢高徳さん(前列中央)と。

## 第1回卓球バレー指導者養成講習会を開催！

◆日程：令和元年7月6日(土) ◆会場：ふれあいランド岩手(盛岡市)  
◆レポート：今年度の日本卓球バレー連盟公認指導者講習会は、6月23日(日)の岩手県スポーツ推進委員協議会初任者研修会でも行っています。今回は当協会と岩手県作業療法士会共催事業として開催。受講者は、22名で今回は障がい者及び高齢者事業所職員が14名と多く、うち作業療法士は2名の受講でした。午前は、卓球バレーの歴史やルール説明と実技として卓球バレーの持つ魅力を体験していただきました。なお、午前はあえて卓球台を使用せず、長機の活用法も含めて紹介しました。午後の実技ではこれに審判方法も加えて試合形式で受講者が交互に主審、副審を経験していただく形式で実施。受講者の皆さんは初めての審判体験に緊張しながらも、笑い声の絶えない卓球バレーの魅力を十分に感じていただける講習会となりました。進行を務めていただいた岩手県作業療法士会の伊藤和正さんはじめ、多くの関係者の皆様に感謝を申し上げます。



▲午前中の講習は、卓球台を使用せずに長機を使用。その配置やネットサポートの使用方法を体験。卓球台のない場合も十分に楽しむことができます。



# 希望郷いわてオープン2019卓球バレー交流大会を開催！

◆日程：令和元年7月7日（日）◆会場：ふれあいランド岩手（盛岡市）

◆レポート：この大会は日本卓球バレー連盟東ブロック公認大会として、協会設置の都道府県において年1回開催することができ、ブロック公認大会は2級審判以上の資格審査を行える大会となっている。今回は、3名受検し、1級審判及び2級審判の各1名が合格した。競技性の高まりにより、審判技術の向上が求められている。

さて、参加チームは県外からの宮城気仙沼を含めチャレンジクラスが15、わんこ&体験クラス12の合計27チームであった。チャレンジクラスは4ブロックに分かれ、予選リーグを行った。予選リーグは1セット15点の2セットのみ実施。勝点や得点率で順位を競い、各ブロック上位2チームが決勝トーナメントに進出。決勝トーナメントは1セット11点の3セットマッチで行った。今回も大いに盛り上がる大会となりました。遠路、茨城から参加の熊田さん、小藺江さん、埼玉から山田さん、沖田さん、そして毎度宮城から参加の山内さんはじめ多くの審判・スタッフのご協力をいただきました。あらためて感謝を申し上げます。試合結果の詳細データは当協会HPよりダウンロードすることができます。

## 【チャレンジクラス結果】

優勝：アスレクト  
準優勝：飛天彦星  
第3位：さんさ

## 【わんこクラス結果】

優勝：飛天織姫  
準優勝：ひばりマーズ  
第3位：わんこ大盛



▲①スパイダーマン（手前）対ふたば（奥側）の同人による宿命対決、②アダージョ（左）対ひばりマーズ（右）、③ひばりピーナス（左）対番星（右）、④金ヶ崎A（左）対スマイル（右）／主審は沖田さん（埼玉県）、⑤飛天彦星（手前）対金ヶ崎B（奥側）／主審は山内さん（宮城県）、⑥金ヶ崎A（手前）対もりおか TVC（奥側）、⑦わんこ大盛（左）対イーハトーブ（右）、⑧さんさ（左）対宮古市身体障害者福祉会A／主審は小藺江さん（茨城県）、⑨鬼っ子クラブ（手前）対飛天彦星（奥側）、⑩宮城気仙沼（左）対アスレクト（右）／主審は熊田さん（茨城県）

# 初級障がい者スポーツ指導員養成講習会を開催しました

◆期日：令和元年7月13日（土）～15日（月）◆会場：ふれあいランド岩手（盛岡市）

◆レポート：この講習会は、日本障がい者スポーツ協会公認の初級障がい者スポーツ指導員資格が取得できる。18歳以上であればどなたでも受講できるため、毎年、各都道府県において開催されている。公認カリキュラムでは18時間以上の科目となるため、本県では、例年、海の日を含む3連休で開催している。

さて、今年は、25名の初級指導員が誕生した。参加者の内訳をみると作業療法士が4名、理学療法士2名とリハビリ関係者の受講が増えてきている。それに反して特別支援学校教員は、今回は受講がなく、福祉・教育関係者のスポーツ離れも進んでいるように思う。この要因として、スポーツの部署が一元化されたことにより、福祉や教育の部署と距離が出来ているのではないかと感じる。また、毎年、初級講習を開催しているにも関わらず、初級指導者の累計には必ずしも比例していない。おそらく資格を取得したが、活動機会がない、情報がないと感じる方が資格更新を断念するケースも相変わらず多いようである。本県においても、その傾向はあるので、岩手県障がい者スポーツ指導者協議会や関係団体と連携して指導者の活動をフォローアップできるような体制づくりを進めていきたいと思う。



▲①「障がいの理解とスポーツ（身体障害）」／日本卓球バレー連盟副会長兼普及委員長 堀川裕二氏  
②「障害各論（知的障害）」／岩手県立療育センター相談支援部発達障がい支援係長 長葎 康紀氏  
③「全国障害者スポーツ大会の概要」／東北文化学園大学医療福祉学部保健福祉学科准教授 佐藤 敬広氏  
④「障がい者福祉施策と障がい者スポーツ」／社会福祉事務所ふじしま企画 藤島 秀一氏

▲⑤「障がいに応じた工夫・実施」は実技を含む実践的な内容となった。講師は、（一社）コ・イノベーション研究所代表理事 橋本 大佑氏  
⑥最後に受講者全員で記念撮影。3日間連続の講習、お疲れさまでした！



## 第19回全国障害者スポーツ大会第1回派遣選手強化練習を開催

◆期日：令和元年7月20日（土）◆会場：ふれあいランド岩手、マッハランド

◆レポート：この練習会は第19回全国障害者スポーツ大会・いきいき茨城ゆめ大会派遣選手を対象として行われる。本県からは、個人競技種目の陸上、水泳、アーチェリー、卓球、フライングディスク、ボウリングに計28名の選手が出場する。また、団体競技は全国を6ブロックに分けて予選会を開催し、優勝したチームに出場権が与えられる。本県は北海道・東北ブロックに所属し、今回予選会を突破したのは、知的障がい者のバレーボール男子、同女子（初めて男女アベック優勝を達成）と16年連続出場となるフットベースボールであった。

さて、この強化練習は個人競技を対象として行われるものである。午前中は、選手及び役員の紹介と大会の概要説明、県から支給される岩手県ジャージ（国体と同モデル）の採寸等を行った。午後からの練習では各競技において練習を行った。この合同練習は、本番では、各競技で宿舍等も分かれるため、9月の強化合宿と併せて全体が集う貴重な機会となっている。



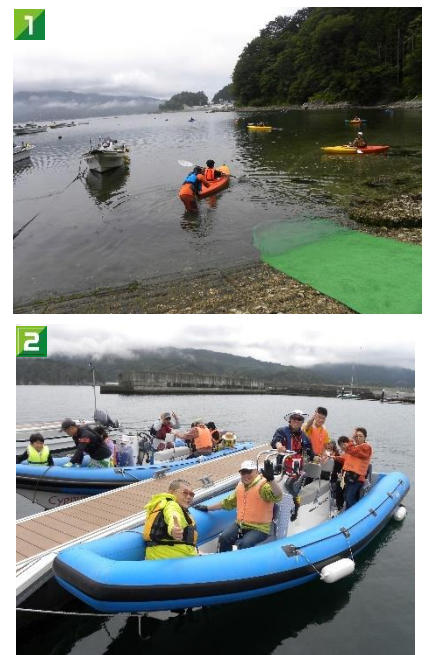
▲①開会後に各競技選手団から自己紹介をいただいた。画像は陸上競技の選手たち、②卓球競技の練習風景、③選手団役員には、トレーナーとして6名の作業療法士の皆さんにご協力いただいている、④フライングディスク練習には過去の全国大会出場選手も一緒に練習をしている。今回、出場する選手には大いに刺激になっている。また、率先してディスク拾いなど選手同士で行っている。

## マリンスポーツ体験教室を開催しました！

◆期日：令和元年7月21日（日）◆会場：リアスハーバー宮古（宮古市）

◆レポート：この事業は日本障がい者スポーツ協会の委託事業として実施するようになってから3期目となりました。アウトドアスポーツの中でもシーカヤックは人気があります。人気の要因は普段ではなかなか体験する機会が少ないことにあるでしょう。カヤックも安定性の高いタイプや一人での操作に不安がある方のためのタンデムタイプ（二人乗り）もあり、片麻痺や視覚障がいの参加者にも対応することができます。また、ボートでのクルージングのプログラムもあります。こちらは海上を疾走するスピード感や海から眺める浄土ヶ浜、ウミネコとの交流体験など大人気です。

さて、今回は肢体不自由の小学生から高齢者まで36名が参加。うち車いす利用者が10名でした。シーカヤックへの移乗の際は理学療法士や作業療法士のボランティアスタッフにお手伝いをいただきました。リハビリの専門職でも通常の車いすではない、シーカヤックやボートへの移乗は、あまり経験がないと思います。ただし、そこは専門職で少し頭を悩ませながらも適確に介助していただきました。アウトドアでの事業は、こういった専門職の存在は欠かせません。また、今回は、参加人数が多かったため、2グループに分けて、シーカヤックとボートクルージングをそれぞれ交互に体験しました。今回もご協力いただいたNPO法人いわてマリンフィールドの皆さん、宮古市シーカヤック協会の皆さんにあらためて感謝を申し上げます。



▲①湾内は波も静かで比較的的安全です。②シーカヤックとともに人気メニューのボートクルージング。ゴムボートのスピード感はスリル満点！



▲③NPOいわてマリンフィールドの橋本理事長（左）、宮古市シーカヤック協会の滝澤さん（真ん中）、リアスハーバー宮古の加藤さん（右）。この3名には事業全般においてお世話になっております。④今回は、小学生の参加も多かった。⑤タンデム艇（二人乗り）は前に乗る方の障害（片麻痺、視覚障害等）に応じて使用する。⑥小学生たちはすでに帰った後でしたが、最後に記念撮影m(\_ \_)m



# 登山体験教室を開催しました！

◆期日：令和元年7月27日（土）◆会場：八幡平レストハウス・遊歩道（八幡平市）

◆レポート：当日は、霧が発生し、視界不良の上、この時期としてはかなり肌寒い天気となり、参加者にとって厳しい条件となりました。しかし、この日を楽しみにしていた参加者の皆さんはあまり気にならない様子でした。参加者は30名となりました。うち4名が車いすでの参加です。サポートメンバーは岩手山岳スポーツクライミング協会を中心に理学療法士、作業療法士等のリハビリ専門職の方にもご協力いただきました。

車いすの参加者は、アウトドア用車いすに乗り換えていただきます。この車いすは電動アシストタイプとなっており、①参加者と②電気のかと③サポーターの三位一体？力を合わせて登ります。コースは遊歩道を利用しました。レストハウスを発着とし、鏡沼⇒メガネ沼⇒八幡平山頂（記念撮影）⇒ガマ沼⇒八幡沼（昼食中止）⇒見返り峠で所要時間は約1時間半でした。

視界が良ければ山岳協会さんのガイドにより、ビュースポットで時間を取りましたが、午後の悪天候も想定されるため、駆け足での登山となりました。レストハウスに戻り、山岳協会の皆さんから講評をいただき終了となりました。講評の中で「天気は悪かったが、マイナスイオンがかなり多めに出ていたので、皆さん、健康になったと思う」とありました。おっしゃるとおり森林浴としては最高の条件だったように思います。ご協力をいただいた岩手県山岳スポーツクライミング協会、ボランティアスタッフ、参加者の皆さんにあらためて感謝を申し上げます。



▲かなりの視界不良でしたが、何とか山頂で記念撮影をすることができました。



▲①レストハウスを出発。すでに視界不良です。使用する車いすは登山用車いす。サポーターは前2人、後ろ1人の3人体制。これに加えて電動アシスト機能を活用します。②こちらの車いすはOX製のアウトドア用車いす。すでに製造中止のようです。③遊歩道から上を見ても視界不良でした。④岩手県山岳スポーツクライミング協会の皆さん。アウトドアの事業は専門家のサポートは必須です。

## 掲示板

-BBS-

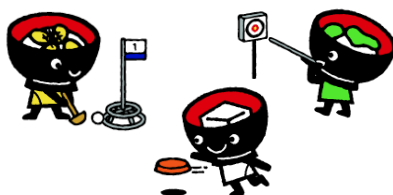
事業詳細や活動団体の紹介、様々なニュースやおすすめのイベント情報等をピックアップ！詳細情報は当協会HPをご覧ください！

### PTのための中級障がい者スポーツ指導員養成講習会を開催

- 期日：12/7（土）～12/8（日）  
1/18（土）～1/19（日）
- 会場：ふれあいランド岩手
- 参加資格：理学療法士が対象とです。
- 定員：15名
- 内容：公益財団法人日本障がい者スポーツ協会の公認資格取得講習。特徴としては理学療法士であれば、初級資格の有無に関わらず、中級資格を取得可能です。
- その他：昨年度より、日本障がい者スポーツ協会委託事業に公募申請をして、受託実施しております。

### ユニバーサルスポーツ体験会を開催します！

- 期日：1/15（水）
- 会場：一関市総合体育館
- 日程：10時～12時
- 主催：一関市障がい者スポーツ協会
- 内容：卓球バレー、フライングディスク、スポーツ吹矢、グラウンドゴルフ（室内）



### 中級障がい者スポーツ指導員養成講習会兼フォローアップ研修会を開催します！

- 期日：2/1（土）～2/2（日）  
2/8（土）～2/9（日）  
3/14（土）～3/15（日）  
3/20（金）～3/21（土）
- 会場：ふれあいランド岩手
- 参加資格：公益財団法人日本障がい者スポーツ協会公認初級障がい者スポーツ指導員資格を取得後、2年館（活動時間80時間）以上の活動実績のあるもの。なお、フォローアップ研修は関心のある方であれば受講可能。詳細はHPにて。



# 貸借対照表

平成31年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	3,043,866	2,038,332	1,005,534
未収入金	2,404,000	2,350,000	54,000
棚卸資産	24,880	10,500	14,380
貯蔵品	50,980	0	50,980
前払金	22,519	19,596	2,923
立替金	410,275	0	410,275
流動資産合計	5,956,520	4,418,428	1,538,092
2. 固定資産			
特定資産			
退職給付引当資産	4,619,274	4,263,522	355,752
固定資産合計	4,619,274	4,263,522	355,752
資産合計	10,575,794	8,681,950	1,893,844
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
短期借入金	3,000,000	3,000,000	0
未払金	1,907,852	234,301	1,673,551
前受金	1,082,629	1,114,660	△ 32,031
預り金	246,900	152,354	94,546
未払法人税等	72,000	72,000	0
流動負債合計	6,309,381	4,573,315	1,736,066
2. 固定負債			
退職給付引当金	4,619,274	4,263,522	355,752
固定負債合計	4,619,274	4,263,522	355,752
負債合計	10,928,655	8,836,837	2,091,818
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計			
2. 一般正味財産	△ 352,861	△ 154,887	△ 197,974
正味財産合計	△ 352,861	△ 154,887	△ 197,974
負債及び正味財産合計	10,575,794	8,681,950	1,893,844

## 正味財産増減計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減				
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				管理費	3,259,931	4,270,706	△ 1,010,775
1. 経常増減の部				広告宣伝費	16,680	73,980	△ 57,300
(1) 経常収益				退職給付費用	670,752	502,113	168,639
受取会費	539,000	371,460	167,540	福利厚生費	22,176	22,176	0
正会員	115,000	169,000	△ 54,000	賃借料	17,714	105,012	△ 87,298
賛助会員	424,000	202,460	221,540	消耗什器備品費		35,854	△ 35,854
特別会員			0	消耗品費	48,268	45,385	2,883
事業収益	44,632,600	54,515,192	△ 9,882,592	光熱水費	16,075	97,899	△ 81,824
受託事業収益	44,632,600	54,515,192	△ 9,882,592	旅費交通費	91,380	99,390	△ 8,010
受取補助金等	1,873,351	0	1,873,351	支払手数料	28,296	9,120	19,176
補助金収益	1,873,351		1,873,351	租税公課	69,000	71,800	△ 2,800
受取寄附金	2,468,600	2,816,800	△ 348,200	保険料	25,393	25,393	0
受取寄附金	2,468,600	2,816,800	△ 348,200	通信運搬費	33,702	193,174	△ 159,472
雑収益	226,357	727,259	△ 500,902	諸会費	77,240	62,000	15,240
受取利息	37	39	△ 2	印刷製本費	28,923	37,453	△ 8,530
雑収益	226,320	727,220	△ 500,900	諸謝金	31,500	31,500	0
経常収益計	49,739,908	58,430,711	△ 8,690,803	食糧費	950	950	0
(2) 経常費用				車輦費	10,807	9,242	1,565
事業費	46,505,951	54,515,192	△ 8,009,241	被服費	1,526,700	2,058,010	△ 531,310
広告宣伝費	150,072	73,980	76,092	会場使用料		349,938	△ 349,938
給料手当	7,034,711	7,136,535	△ 101,824	雑費	544,375	498,160	46,215
賞与	1,445,600	1,291,200	154,400	経常費用計	49,765,882	58,785,898	△ 9,020,016
臨時雇賃金	0	366,600	△ 366,600	当期経常増減額	△ 25,974	△ 355,187	329,213
法定福利費	1,383,150	1,267,914	115,236	2. 経常外増減の部			
賃借料	1,574,252	1,163,172	411,080	(1) 経常外収益			0
消耗品費	2,375,108	1,819,582	555,526	経常外収益計			0
光熱水費	144,689	30,822	113,867	(2) 経常外費用			0
旅費交通費	2,492,700	3,129,089	△ 636,389	過年度修正損	100,000	100,000	0
支払手数料	77,106	56,746	20,360	経常外費用計	100,000	100,000	0
租税公課		71,700	△ 71,700	当期経常外増減額	△ 100,000	△ 100,000	0
保険料	370,785	440,961	△ 70,176	他会計振替額	0	0	0
通信運搬費	851,405	805,262	46,143	税引前当期一般正味財産増減額	△ 125,974	△ 355,187	229,213
諸会費	5,000	5,000	0	法人税、住民税及び事業税	72,000	72,000	0
印刷製本費	1,701,479	1,964,785	△ 263,306	当期一般正味財産増減額	△ 197,974	△ 427,187	229,213
諸謝金	2,547,120	2,730,540	△ 183,420	一般正味財産期首残高	△ 154,887	272,300	△ 427,187
選手派遣旅費	15,958,652	25,146,041	△ 9,187,389	一般正味財産期末残高	△ 352,861	△ 154,887	△ 197,974
食糧費	2,357,867	2,946,294	△ 588,427	<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
車輦費	102,323	83,454	18,869	当期指定正味財産増減額			
雑費	10,640	406,020	△ 395,380	指定正味財産期首残高			
委託費	782,500	1,182,320	△ 399,820	指定正味財産期末残高			
会場使用料	2,081,356	376,190	1,705,166	<b>III 正味財産期末残高</b>	△ 352,861	△ 154,887	△ 197,974
被服費	1,186,085	2,020,985	△ 834,900				
支払補助金	1,873,351	1,873,351	0				



正味財産増減計算書内訳表

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

科目	収益事業等会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費		539,000	539,000
正会員		115,000	115,000
賛助会員		424,000	424,000
特別会員			
事業収益	44,632,600		44,632,600
受託事業収益	44,632,600		44,632,600
受取補助金等	1,873,351		1,873,351
補助金収益	1,873,351		1,873,351
受取寄附金		2,468,600	2,468,600
受取寄附金		2,468,600	2,468,600
雑収益		226,357	226,357
受取利息		37	37
雑収益		226,320	226,320
経常収益計	46,505,951	3,233,957	49,739,908
(2) 経常費用			
事業費	46,505,951		46,505,951
広告宣伝費	150,072		150,072
給料手当	7,034,711		7,034,711
賞与	1,445,600		1,445,600
臨時雇賃金	0		0
法定福利費	1,383,150		1,383,150
賃借料	1,574,252		1,574,252
消耗品費	2,375,108		2,375,108
光熱水費	144,689		144,689
旅費交通費	2,492,700		2,492,700
支払手数料	77,106		77,106
租税公課	0		0
保険料	370,785		370,785
通信運搬費	851,405		851,405
諸会費	5,000		5,000
印刷製本費	1,701,479		1,701,479
諸謝金	2,547,120		2,547,120
選手派遣旅費	15,958,652		15,958,652
食糧費	2,357,867		2,357,867
車輛費	102,323		102,323
雑費	10,640		10,640
委託費	782,500		782,500
会場使用料	2,081,356		2,081,356
被服費	1,186,085		1,186,085
支払補助金	1,873,351		1,873,351
管理費		3,259,931	3,259,931
広告宣伝費		16,680	16,680
退職給付費用		670,752	670,752
福利厚生費		22,176	22,176
賃借料		17,714	17,714
消耗什器備品費		0	0
消耗品費		48,268	48,268
光熱水費		16,075	16,075
旅費交通費		91,380	91,380
支払手数料		28,296	28,296
租税公課		69,000	69,000
保険料		25,393	25,393
通信運搬費		33,702	33,702
諸会費		77,240	77,240
印刷製本費		28,923	28,923
諸謝金		31,500	31,500
食糧費		950	950
車輛費		10,807	10,807
被服費		1,526,700	1,526,700
会場使用料		0	0
雑費		544,375	544,375
経常費用計	46,505,951	3,259,931	49,765,882
当期経常増減額	0	△ 25,974	△ 25,974
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
過年度修正損	100,000		100,000
経常外費用計	100,000		100,000
当期経常外増減額	0	△ 100,000	△ 100,000
他会計振替額			0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 125,974		△ 125,974
法人税、住民税及び事業税	72,000		72,000
当期一般正味財産増減額	△ 197,974		△ 197,974
一般正味財産期首残高	△ 154,887		△ 154,887
一般正味財産期末残高	△ 352,861		△ 352,861
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高			
指定正味財産期末残高			
III 正味財産期末残高	0	△ 352,861	△ 352,861

令和元年度収支予算書(正味財産増減計算ベース)

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:円)

科目	収益事業等会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費		600,000	600,000
正会員		150,000	150,000
賛助会員		450,000	450,000
特別会員			
事業収益	45,300,000		45,300,000
受託事業収益	45,300,000		45,300,000
受取補助金等	3,000,000		3,000,000
補助金収益	3,000,000		3,000,000
受取寄附金		2,900,000	2,900,000
受取寄附金		2,900,000	2,900,000
雑収益		0	0
受取利息		0	0
雑収益		0	0
経常収益計	48,300,000	3,500,000	51,800,000
(2) 経常費用			
事業費	48,300,000		48,300,000
広告宣伝費	150,000		150,000
給料手当	7,600,000		7,600,000
賞与	1,500,000		1,500,000
法定福利費	1,400,000		1,400,000
賃借料	1,580,000		1,580,000
消耗品費	2,525,000		2,525,000
光熱水費	150,000		150,000
旅費交通費	2,500,000		2,500,000
支払手数料	70,000		70,000
保険料	450,000		450,000
通信運搬費	900,000		900,000
諸会費	5,000		5,000
印刷製本費	1,500,000		1,500,000
諸謝金	2,500,000		2,500,000
選手派遣旅費	15,000,000		15,000,000
食糧費	2,500,000		2,500,000
車輛費	100,000		100,000
雑費	100,000		100,000
委託費	700,000		700,000
会場使用料	2,000,000		2,000,000
被服費	1,200,000		1,200,000
支払補助金	3,000,000		3,000,000
租税公課	870,000		870,000
管理費		3,316,000	3,316,000
広告宣伝費		17,000	17,000
退職給付費用		500,000	500,000
福利厚生費		22,000	22,000
賃借料		15,000	15,000
消耗品費		48,000	48,000
光熱水費		15,000	15,000
旅費交通費		90,000	90,000
支払手数料		25,000	25,000
租税公課		50,000	50,000
保険料		5,000	5,000
通信運搬費		30,000	30,000
諸会費		74,000	74,000
印刷製本費		30,000	30,000
諸謝金		30,000	30,000
食糧費		5,000	5,000
車輛費		10,000	10,000
被服費		1,800,000	1,800,000
雑費		550,000	550,000
経常費用計	48,300,000	3,316,000	51,616,000
当期経常増減額	0	184,000	184,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額			0
税引前当期一般正味財産増減額	0	184,000	184,000
法人税、住民税及び事業税		72,000	72,000
当期一般正味財産増減額	0	112,000	112,000
一般正味財産期首残高	0	△ 352,861	△ 352,861
一般正味財産期末残高	0	△ 240,861	△ 240,861
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高			
指定正味財産期末残高			
III 正味財産期末残高	0	△ 240,861	△ 240,861



# 会員紹介 -Our Partners-



(令和元年9月末現在 敬称略・順不同)  
いつもあたたかいご支援をいただきありがとうございます！

## 賛助会員一覧（団体）

(一社)岩手県建設業協会	(株) やよいデイト	(有) タイガースポーツ	名鉄観光サービス(株) 盛岡支店
(株) IBC 岩手放送	岩手電工(株)	(一社)岩手県医師会	(株) カガヤ
(株) 北日本銀行	(株) アイシーエス	(株) 岩手日報社	(株) 久慈設計
(株) 丹野組	いわて生活協同組合	(株) 志百家	(一社)岩手県理学療法士会
(株) 明和土木	(株) ヤマイチ	岩手トヨペット(株)	(株) ヴィクトリア ネクスカンパニー
白金運輸(株)	小岩金網(株)	(株) 中野製麺	(株) 長谷川建設
菱和建设(株)	(株) 藤沢体育堂	(株) 宮澤商店	岩手リオン補聴器センター
盛岡商工会議所	(株) 寿広	(株) 遠忠	宮城建設(株)
(株) 青紀土木	(株) 川徳	(株) テレビ岩手	みちのくコカ・コーラボトリング(株)
(株) 菊地建設	岩手雪運(株)	(株) 小林精機	(株) ユニバース
(株) アイエムアイ	(株) 日盛ハウジング	岩手県産(株)	岩手スポーツ用品販売(株)
江刺岩手ライオンズクラブ	岩手電力(株)	日本身体障害者団体連合会東北事業所	

## 賛助会員一覧（個人）

内山 順一	菅 里美	平藤 淳	藤村 誠	堀川 裕二	白畑 由貴子		
-------	------	------	------	-------	--------	--	--

## バナー広告掲載中！

賛助会員のバナー広告は無料で掲載しております。現在、以下 26 団体のバナー広告を掲載中。その他、掲載依頼がありましたら随時、当協会 HP にアップいたします。詳細につきましてはお問合せ下さい。


## 正会員一覧（団体）

岩手県知的障害者ソフトボール協会いわてスマイリーズ	(社福)岩手県社会福祉協議会	(社福)岩手県社会福祉事業団
(一社)岩手県作業療法士会	(株)トラスト保険	サークル「ゆうの会」
(NPO)岩手県精神保健福祉連合会	全国脊髄損傷者連合会岩手県支部	岩手県知的障がい者サッカー連盟
ドルフィンズ岩手	(社福)自立更生会	(社福)岩手県視覚障害者福祉協会
岩手県特別支援学校連絡協議会	岩手チアスキークラブ・イーハトーブ	岩手県 ID バスケットボール連盟
(社福)岩手県身体障害者福祉協会	(社福)手をつなぐ	ラッセル岩手

## 正会員一覧（個人）

佐藤 慎二	藤井 公博	伊藤 昇	高橋 修	民部田 誠	畠山 哲男	三浦 拓朗
佐藤 勝士	白藤 友一	笹木 正	今宮 正彦	横沢 高德	上村 弥	阿部 史憲
佐藤 佑哉	及川 貞之	佐藤 隆秀	野辺地 省吉	佐々木 満	井上 勝巳	篠原 政良
中野 正紀	佐々木 君夫	菊池 幸子	井上 君之	菅原 幸二	軽石 義則	佐々木 茂
小坂 亜純	小江 巧					

◆会員の募集について◆  
「Sports For All」の考えに基づき、障がいのある方々が一人でも多く、いつでも気軽にスポーツに参加できるよう取り組んでまいります。皆様のご支援、ご協力をお願いいたします！

区分	金額
賛助会員	個人 1口 1,000円
	団体 1口 10,000円
正会員	個人 1口 1,000円
	団体 1口 5,000円

\*\*\* 問合せ先 \*\*\*  
〒020-0831 盛岡市三本柳 8-1-3  
(一社)岩手県障がい者スポーツ協会  
TEL 019-637-5055  
FAX 019-637-7626  
E-mail : [info@iwate-adaptive.or.jp](mailto:info@iwate-adaptive.or.jp)  
<https://www.iwate-adaptive.or.jp/>